no.24 2014

日本聖心同窓会
JASHだより
Japan Alumnae Association of the Sacred Heart
50th Anniversary

JASH名誉会長挨拶

聖心会
日本管区
管区長
シスター
新庄美重子
（み47、宮16）

JASH創立五十周年おめでとうございます。日本における聖心女子学院のそれぞれの同窓会の要としてのJASHが、堅固な歩みを続け、めざましい活躍をして来られたことに改めてお祝い申し上げます。

聖マグダレナ・ソフィアが最初に学校を始められた時の思いは、次のようでした。「私の眼には、教会の上空高く広がる宇宙の前で、幾千幾万の人びとが、創造主なる神に礼拝を捧げているのがうつった。『これだ』と私は思った。私たちは若い世代の教育に奉献しなければならない…私たちは、すべての民族をふくむ無数の礼拝者を、世界の果てに至るまで、育てていこうではないか」礼拝者とは、神をあがめ、神の心を携えて平和と正義の満ちる世界の建設に努める人びとのことです。創立者のヴィジョンが世界中で実現していることのあかしは、卒業生の一人ひとりの生きざまにあると思います。

二〇一三年の漢字は『輪』でした。JASHの活動を思うにつけて、この漢字がとても輝いて見えます。ローマにある聖心会本部の聖堂のご聖体を安置する聖櫃は、円形で三つの輪が重なっています。静かな水に石が投げ入れられた時に漣のように輪が広がっていくことを表しています。神の愛が広がっていくことをイメージしてのデザインです。聖マグダレナ・ソフィアのヴィジョンは、この輪のように世界中に広がっています。

JASHは日本の各同窓会の輪をつなげ、世界の同窓会の輪とも協力してきました。また、同窓会の輪を越えて平和と正義のある社会を建設しようという人びとともに輪を広げています。

教皇フランシスコは苦しむ人々、弱い立場にある人々に寄り添い、憐れみの心（コンパッション）を持って行動するよう呼びかけられます。私たちの輪もこれを特徴としたいものです。私たちは、世界中の人々、すべてのもの、また様々な出来事の間のつながり（Interconnectedness）に気づくようになりました。地球の温暖化による自然災害、貧困と抑圧に苦しむ人々の増加という現実は、神の創造された地球を壊し利益を独り占めにする人間の欲と繋がっています。この繋がりの中に働く負の力の結果です。一方、地球を守り、苦しむ人々に寄り添おうとする善意の人々の連帯の行動は、すべてのものが繋がっていることの美しい表現であり、希望のしるしです。これこそ、コンパッションの輪の広がりです。

これからも、JASHとして、一人ひとりの会員として、それぞれのおかれた場でこのコンパッションの『輪』をますます広げていきたいと念じております。

50th ANNIVERSARY

AMASCブローチ
JASH創立50周年記念

世界を包む みこころを象徴するオープンハート。銀製、ブローチとペンダントのツーウェイタイプです。

製　作　和光
頒布価格　8,000円
送　料　全国一律510円（郵便局レターパックプラスでお届けいたします。）

お問い合わせ、申し込みはJASHウェブサイトまたはファックスで。
お届けに時間がかかることをお許しください。

JASH Website リニューアル

■「JASHだより」掲載
3月末の発行と同時に、海外在住の方々をふくむ、すべてのJASH会員の皆様にご覧いただけるようになりました。

■「海外JASH会員の集い」のページ新設
海外での同窓会活動のお知らせや報告を掲載できます。

JASHに関する情報をいち早く掲載しています。ぜひご覧ください。

URL: http://www.jash316.com/

特別寄稿

JASHの今、これから

JASH理事
（聖心会代表）
シスター
田中 玲子
（み44、宮13）

JASHの理事会に出席して皆様の活動報告などを伺うことは、私にとって一つの生涯教育になっています。いつも和やかな雰囲気に包まれていますが、聖心の同窓会が只の仲よし社交クラブではなく、皆様が聖心の大学や学校で身につけられた価値観や能力を生かしそれを周囲の方々と分かち合うベースとなっているのは、本当に嬉しいことです。例えば最近では、東日本大震災やフイリピンの超大型台風の被災者支援などに、時間や労力を惜しみなく提供し、種々の奉仕活動に喜んで、しかも楽しそうに参加していらっしゃるお姿に心を打たれました。善業をするときに周りの人々を誘いこむこと、それは多くの皆様が子どもの頃シスターたちからお聞きになった「聖心の子どもは一人で天国に行ってはいけません」という聖創立者の言葉を生きる一つの方法だと思います。今後とも、皆様がかつて学校や大学で培われた組織力、行動力を生かしてそれぞれの場で聖心の精神を実践し、先輩方から受け継がれた同窓生の使命と伝統を後輩たちにも伝えて行って下さるようお願いいたします。半世紀の節目に当たり、時代の要請に応えるJASHのこれからの道をご一緒に進んで行けたらと思っております。

JASH会長退任にあたって

JASH会長
堀田 公子
（み48、宮17）

私は二〇一四年三月でJASH会長としての四年の任期を終えます。

就任した二〇一〇年度、四月のAMASCマルタ大会には二十八名のJASH会員と、十二月のジュワニー臨時各国会長会議には小堀玲子元AMASC会長と出席し、AMASCのあり方に対する提言をしました。

東日本大震災後直後に始まった二〇一一年度には、オール聖心義捐金、オール聖心ミサを企画実現することで、三百余名のJASH会員を含む被災者と被災地への私たちの思いを具現化しました。多くのAMASC関係者からお見舞いメールが届き、二百年以上、世界各地で受け継がれてきた聖心家族の絆を実感しました。

二〇一二年度の一大行事は、年度末の「JASHの日」へのAMASC会長パメラ・スナイダーの来日でした。ボランティアの歓迎チームに、一連の行事を企画段階から助けていただきました。また同窓会の役員、三委員会とスタディグループのメンバーがそれぞれの分野で活躍してくださり、ビジネス、友好両面で実りある一週間となりました。

そして最終年二〇一三年度は、創立五十周年を祝う「JASHの日」で締めくくることができました。校歌メドレーなど特別なプログラムを通して、参加者が各々の母校への思いをはせ、感謝の念を新たにしました。

また、この四年間には、JASHボランティア制度と海外における「JASH会員の集い」の立ち上げ、AMASCブローチの製作と頒布、ウェブサイトリニューアル、フィリピン台風義捐金募集、学校法人理事長からお預かりした二冊の本の翻訳なども行いました。

これらすべては、日々の小さな努力、協力の積み重ねで初めて可能であったとつくづく感じています。二代の名誉会長シスター長野とシスター新庄、聖心会代表のシスター田中をはじめ、シスター、先生、先輩方、理事、ボランティアの皆様が、私ども役員に気持ちよく力をお貸しくださいました。JASHやAMASCは、母校聖心という無形の財産を共有する会員が、年齢、育った環境などの違いを超えて、友情を育んでいく比類のない場であることを体験できました。心からお礼申し上げます。

後任の会長中山洋子さんは、一九八六年のAMASC東京大会に準備委員として関わられ、その後八年間AMASC役員を務められたあともJASHやAMASCに深い関心を持ち、活動されています。中山さんがお引き受けくださったことは、私自身にとって、本当にありがたく、うれしいことですが、それより何より、全JASHにとって、この上なく幸せなことと確信しています。

フィリピンの台風被害に対する義捐金報告

2013年11月8日甚大な台風の被害にあったフィリピンでは、地区会計責任者のシスター有田由佳（み64、宮33）をはじめ、世界各地からの聖心会のシスター方が活動していらっしゃいます。JASHは、被災地、被災者の支援をしたいという会員の気持ちをまとめ、聖心会日本管区本部を通じて、シスター有田にお届けすることに決定しました。JASHの呼びかけに対し、多くの会員から義捐金が寄せられました。

2013年12月10日には、1,705,434円、2014年1月30日には1,674,004円、そして3月12日には23,000円を、聖心会日本管区本部にお託ししました。シスター有田からのお礼と近況報告は、逐次JASHウェブサイトに載せております。

このような非常時に発揮された日本中の聖心同窓生の一致団結した力の大きさに改めて感動し、統合同窓会としてのJASHが、そのことに貢献できたことを誇らしく感じております。皆さまの温かいご協力に、JASH役員一同心から感謝いたします。

委員会報告

ホスピタリティー委員会

JASH
ホスピタリティー
委員会会長

阿部 裕子
（宮32）

当委員会はJASH発足直後から、AMASCホスピタリティーネットワークの一環として活動しております。現在はJASH会員七名が委員登録しており、ボランティアの協力を得て国内外のAMASC関係者のご要望に対応できるよう活動しております。

近年の主な活動は、三月の「JASHの日」の昼食会の準備です。昨年度はスナイダーAMASC会長をお迎えして行われましたが、出席者皆様に喜んでいただけるよう、献立や学生食堂の会場作りに意見を出し合いました。その経験を生かし、本年度も、JASH設立五十周年を祝うのにふさわしい雰囲気作りを心掛けました。当日テーブルに並んだケーキは、すべてボランティアの皆様からの心のこもった美味しい手作りの品々です。毎年、届けられるたくさんのケーキを前に聖心スピリットを改めて実感し、準備する我々も温かな気持ちで活動しております。ボランティアの皆様のご協力で成り立っている当委員会を、今後ともご支援いただくようお願い申しあげます。

AMASC東京大会記念基金委員会

AMSC東京大会
記念基金委員会
委員長

渡辺寿恵子
（み49）

一九八六年のAMASC東京大会直後に発足した基金委員会では、過去の大会（コスタリカ、ジェノヴァ、メキシコ、シドニー、マルタ）に費用の一部を負担して若い同窓生を送り続け、世界中の聖心同窓生との繋がりを体感してもらうべく努力してきました。大会に参加したヤングの全てからフィードバックがあるわけではありませんが、それでも何人かは現在に至るまで同窓会に関心を持ち、その活動にも協力的です。二〇一四年十一月に開催されるアリゾナ大会に向けて、ヤングとしてスタディグループにも加わり、二〇一三年三月の「JASHの日」には他のグループとともに纏めを発表する機会も与えられました。

六月に行われた恒例の「ヤングアラムネの集い」には高校生や大学生の初参加もありました。条件が揃えばアリゾナ大会にぜひ行ってみたいとの頼もしい声を聞くことができたことは、嬉しい限りでした。

今後はスタディグループとの連携をさらに強めながら、一人でも多くの若い同窓生を大会に送り、聖心スピリットを肌で感じてもらいたいと願っています。

JASH資料委員会

JASH
資料委員会
委員長

山本 旬子
（真4）

二〇一四年三月十九日「JASHの日」に、当委員会はJASH創立五十周年記念の展示を宮代ホールロビーで行いました。JASHの行事、AMASC東京大会、マルタ大会などの写真、JASHだより、「クックブック」など、懐かしい品々を展示し、皆様にJASHの歩んできた五十年を身近に感じていただきました。同時に小林聖心から頂戴した貴重な「お札」のコピーでレプリカを作り展示いたしました。二〇一三年十月には札幌聖心女子学院創立五十周年記念式典に資料を貸し出し、展示、パワーポイントに利用して戴きました。当委員会の目的は貴重な聖心各学校に関する有形・無形の資料が散逸してしまわないように収集、保管し、それを活用することでございます。通常の活動としては学校法人の三階をお借りして資料の整理、検索、利用を円滑にできるようにデータベースの完成に力を注いでおります。近年、不二聖心、小林聖心各校にアーカイブ室が完成しました。一九九〇年に設立された当委員会は今後とも聖心姉妹校のアーカイブ室と連絡をとりながら、JASHの委員会としての立場を貫き、活動してまいります。これからもご支援、ご協力をお願い申し上げます。

JASHスタディグループ

JASH
スタディ
グループ
委員長

山岡 靖子
（小み38、宮20）

八つの同窓会から有志の方々にご参加頂き開始された活動も、最後の年を迎えました。昨年の「JASHの日」に中間発表を行い、その後は総括に向けての勉強会を行っています。

AMASCの掲げるテーマ「心を一つにして耳を傾けよう」は私達の日常生活の中に沢山のヒントがあり、隔月に開かれるディスカッションにも熱がはいりました。サブテーマとして提示された『貧しい人達の声』、『家族や隣人、身近な人達の声』、『科学と宗教の対話』に心静かに耳を傾けていると、相手への温かい気持ちと理解が生まれる…積極的な手助けができなくても「親切な耳」を傾けることが大切なようです。

次に大会の開催地、アリゾナ州フェニックスと近郊のスコッツデールについて調べました。開拓時代の砂漠の町も、今ではコロラド川の水力発電のお陰で空調の整った緑豊かな近代都市とのこと。大会ではスタディの発表を予定しています。

また国内では六月十四日（土）に宮代ホールで「ヤングアラムネの会」と合流して最終報告を行い、スタディグループ（二〇一一―二〇一四）の活動を終了します。詳しくはウェブサイトでご案内致しますので是非お出かけ下さい。

同窓会報告

茂仁香会

茂仁香会
会長
末永 せい子
（茂5、三保7）

ＪＡＳＨ創立五十周年おめでとうございます。茂仁香会の会長となり一年が経とうとしております。丁度札幌聖心も創立五十周年を迎える大事な年でもあり、大変責任を感じながらのスタートでした。茂仁香会としての一大イベントでもある友愛セールを無事終えての創立五十周年式典が十月五日に行われました。大勢のお客様をお迎えして、大変心温まる式典となりました。神父様の東日本大震災での悲しみの中からの勇気と愛のお話。開校当初からのスライドには沢山の懐かしいシスター方のお顔も見られ、まだまだ発展途上の頃の色々な事が思い浮かび、胸が熱くなりました。田口校長がご挨拶の途中に思わず流された涙は多くの方達に感動を与えた素晴らしい瞬間でした。ＪＡＳＨの堀田会長、監事の岩田さんにもご出席頂きまして深く感謝し御礼を申し上げます。私達同窓会を繋いで常に活動して下さっているＪＡＳＨの存在はとても大きな大切な組織です。これからのご活躍を祈念しております。

真理茂会

真理茂会
会長
山屋 俊恵
（真21）

二〇一三年は隔年開催の真理茂会の総会の年でした。役員となって初めての総会でもありました。総会出席数は非常に少ない当同窓会ですが、新たに参加してくださる方が増えたことが何よりも嬉しいことでした。当日はシスター田口のご配慮でシスター竹井の追悼ミサを行っていただきました。真理茂会の存続を心から願い支え続けて下さったシスター竹井に総会の終了をご報告できました。

今年は「続けることに意味がある」ということを改めて実感した年でした。友愛セールでは昨年以上に顔を出して下さる同窓生の方が増え、お手伝いの申し出もいただきました。東京支部では、北海道縁のものを、とのこだわりの商品を取り扱い、完売に引っ張っていくチームの絆がとても心強く感動致しました。

また、十月に行われた札幌聖心女子学院五十周年記念式典は、本当に素晴らしく誠に聖心らしい心が温かくなる時間でした。この五十年を映像で振り返るシーンでは思わず涙が溢れました。

今年も友愛セール、宮代祭でみなさまをお待ちしております。

みこころ会

みこころ会
会長
小糸 順子
（み50、宮19）

本年度も幅広い年代の役員や会員の皆様のご協力により、五月の総会及び親睦会、六月の裾野墓参、九月の宮代祭や十月のみこころ祭への参加、総クラス幹事会などを無事に終わらせることが出来ました。十一月には追悼ミサでご逝去会員に祈りを捧げ、三年ぶりの名簿も発行致しました。この二月の新入会員歓迎会には99回生となる高三生を迎えました。社会福祉部はクリスマスリース作りの講習会やリサイクル着物販売など新しい企画を次々と立ち上げ、特に二月の安倍昭恵総理夫人講演会は人気の高さから、チケットは瞬時に完売し、資金作りに貢献致しました。

他方、みこころ会グッズのオープンハート刻印チョコレートは、販売開始以来約一年半が経ち、大勢の皆様に母校を懐かしんで買っていただいております。お陰様でその売り上げを細やかな額ですが母校や姉妹校の活動に寄付することが出来ました。

多くの会員が交流を深め、楽しく活動する同窓会を目指したこの三年間を振り返り、周りの皆様の温かいお支えから、たくさんのパワーをいただいたことが、私の何よりの宝となりました。ここに改めて、皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

三光会

三光会
会長
堀 容子
（み66、三英36）

昨年四月より三光会の活動に携わる中で、多くの方々にご助力頂き、職務を務めることが出来ました。お世話になりましたシスター、先生方、卒業以来なかなか会う機会のなかった同級生、それぞれのフィールドで活躍されている先輩、後輩の方々にもお目に掛かれ、また貴重なお話を伺うことができ、改めて聖心同窓生でいられる事に感謝しております。

特に六月に行われましたチャリティーバザーでは、参加して下さった方々の素晴らしい機動力と現役の保育科生・英語科生によるパフォーマンスによって、短い準備期間にも関わらず、多くのお客様に楽しんで頂くことができたと思います。

三光会は、現在会員減少、名簿の刷新が難しいという厳しい環境にあります。特に、二十代、三十代の会員の連絡が取れず同窓会の存続も危ぶまれる状況です。三光会会員がＪＡＳＨ会員として、多くの素晴らしい方々と交流できることを理解して頂けるように、更に活動して参りたいと存じます。

尚、ＪＡＳＨのウェブサイトを通して、住所変更など会員の皆様のご連絡を頂きありがたく思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

語学校・ISSHアルムネ

語学校・
ISSHアルムネ
会長
右）木暮ナタリー（I'93）
左）ベルムデス久仁美
アンドレア（I'96）

二〇一三年度は、現在の役員の四名全員にとって、任期最後の年となりました。私たちは、同窓会のお手伝いを通し、大きな、そして暖かい家族の一員であることに気づくことが出来ました。母校を理解することにより、自分たちへの理解も深まったように思います。来期役員の方々に引き継いで頂くプロジェクトの中でも、世界に散らばる同窓生たちを繋げる役割、さらに、若い同窓生たちへの積極的なアプローチは、今後の最も重要な二つの課題です。

八月の暑い中、同窓会にお集まり頂きました会員の皆様、又、十一月に聖心インターナショナルスクール聖堂にて開催致しました「語学校・ISSH追悼ミサ」にご参列頂きました皆様に心より感謝申し上げます。

聖心姉妹校の同窓会の皆様には、各バザーにて大変お世話になりましたことを、この場をお借りしまして御礼申し上げます。聖心インターナショナルスクールのファミリーフェスティバルは四月の開催予定です。

「語学校・ISSHアルムネ」の活動が大きく拡がり、地盤固いものになることを、現役員一同心より願っております。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

宮代会

宮代会
会長
傍士 朋子
（ド23、宮31）

JASH創立五十周年おめでとうございます。日本中の聖心の子供を一つの絆でお導き下さる活動に心より感謝申し上げます。

宮代会は昨年度も聖心女子大学震災復興チャリティデー参加、宮代祭、追悼ミサ、総会という大きな行事を理事・幹事を中心としながら沢山の同窓生の協力で盛況のうちに終了いたしました。二〇一四年度の宮代祭は九月十三日（土）に開催いたしますので昨年度同様、姉妹校の皆様のご参加をお待ちいたしております。また、六月には三十二回生有志エリザベス・ブリットチャリティミニコンサートを企画いたしました。母校への貢献の一環として奨学金贈呈や留学生昼食会開催を行い、年末援助金給付などの社会福祉支援も宮代会の伝統として引き継がれております。

昨年度は宮代会館の外壁補修と館内の洗面所をリニューアルいたしました。さらに本年度は一部内装を補修する予定でございます。宮代会館をより快適にJASH会員の皆様にご利用いただけますよう願っております。会員の親睦を深めるため、随時ウェブサイトを更新いたしておりますので、JASH会員の皆様にも是非ご覧いただき、聖心の絆が広がりますことを祈っております。

ドゥシェーン会

ドゥシェーン会
会長
汐見久美子
（ド19）

ドゥシェーン会の活動は、東京の聖心女子大と、静岡県の不二聖心の二か所で行われています。

二〇一三年五月の総会は、大学学生食堂をお借りして開催し、シスター寺田和子から、アフリカ生活で得られた貴重なお話を伺いました。

九月の幹事会も学食で行い、「秋のつどい」の打ち合わせを致しました。十一月に不二聖心で開催されたその「秋のつどい」は、天候にも恵まれ、大勢のお客様で賑わいました。ドゥシェーン会は、飲食物やオリジナルグッズを販売しました。

ドゥシェーン会役員は会員の皆様方の絆がより強くなるよう努力をしています。例えばホームページが会員にとっての楽しみになるよう、頻繁に活動や最新のお知らせを載せるようにしています。また名簿の編集に取り組み、二〇一四年初頭には発行することができました。これにより同窓生間の交流が、より行い易く盛んになることと期待しております。

二月には卒業を目前に控えた高三生のドゥシェーン会入会式を行いましたが、JASHが懸け橋となって、姉妹校同窓生や、世界各国の聖心卒業生とも繋がっていることをしっかり伝えることができたと思っております。

小林みこころ会

小林みこころ会
会長
櫻井 和子
（小み45）

五月二十五日の聖マグダレナ・ソフィアの祝日に開催される総会において、会長という大役に就任いたしました。

今年度は小林聖心の創立九十周年にあたり、歴史と共に会員数も増え、小林みこころ会は大きな同窓会組織になりました。十六歳も年齢差のある方々との役員活動は、同じ学び舎で過ごした者同士、すぐに打ち解け、いつも和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく務めることができ感謝しております。幹事会、リサイクルバザー、バラホームへの訪問に続き、十一月は追悼ミサがあり、この一年に帰天されたシスターや先生方、同窓生のご冥福を、ご臨席の皆様と共に心を一つにしてお祈りすることができました。十二月の国際交流では、オーストラリアより先生と生徒さん三十八名をお迎えし、お抹茶のご接待と風呂敷包みの講習会で午後のひとときを楽しんでいただきました。年内最後の同窓会主催のクリスマスバザーは、学院や出店してくださる同窓会会員とその関係の皆様のご協力、そして準備をする役員の頑張りに支えられ、初めての大きな行事を無事終えることができました。今後も役員一同、会員の皆様に参加していただける同窓会運営を目指したいと思っております。

International School of the Sacred Heart

What is it that makes Sacred Heart special?

We are a school that:

- Inspires hearts and minds
- Nurtures a passion for learning and zest for life
- Prepares women for the world
- Provides wise freedom to encourage responsible choices

The journey begins here - come and see for yourself.

Believe · Learn · Connect · Serve · Grow

日本国内の聖心姉妹校で、フェイスブックページを立ち上げました。

学校法人聖心女子学院教育ネットワーク
Sacred Heart Seven Sister Schools

https://www.facebook.com/SeishinNetwork

「共生」「姉妹校連携」「東日本大震災」
「児童・生徒・学生募集」を
キーワードとして発信してまいります。

聖心女子大学

Be independent.
Be intelligent.
Be cooperative.

英語英文学
日本語日本文学
史学
哲学
人間関係学
国際交流学
心理学
教育学
初等教育学

大学院
修士課程/博士前期課程
博士後期課程

http://www.u-sacred-heart.ac.jp
https://www.facebook.com/SeishinDiary

札幌聖心女子学院中学校・高等学校

"Think globally.Act locally（世界的な視野で考え、地に足をつけて行動する)"を合言葉に、国際社会と地域社会に貢献する女性の育成を目指して、中学1年生からソフィア・サイエンスクラスとグローバルクラスの2クラスが始まりました。

ソフィア・サイエンスクラス 定員40名

3つのサイエンス（自然科学・人文科学・社会科学)の領域をバランスよく学び、国公立大、医療・看護系への進路実現。

文部科学省
国際バカロレア教育
推進指定校

グローバルクラス 定員20名

英語コミュニケーション能力と豊かな国際感覚を身につけ、国際社会と地域社会に貢献できる女性を育成。

家庭的で安心!寄宿舎見学においでください。
〒064-8540
札幌市中央区宮の森2条6丁目10-1
TEL.011-611-9231　FAX.011-612-0980

不二聖心女子学院 中学校・高等学校

寄宿あり

◆帰国子女編入試験
随時受け付けています。

◆転入試験(中学2・3年生)
7月12日(土)・12月13日(土)
2015年3月14日(土)

◆学校説明会・体験教室など
学校説明会：6月21日(土)、9月20日(土)、11月22日(土)
高校一日体験入学：8月2日(土)（中学生対象）
夏休み子供自然体験教室：8月4日(月)、8日(金)

◆2014年度公開行事(予定)
11月2日(日)秋のつどい　12月18日(木)クリスマスキャロル

〒410-1126　静岡県裾野市桃園198　TEL.055-992-0213
ホームページ：http://www.fujiseishin-jh.ed.jp
Facebook：http://www.facebook.com/fujisacredheart

聖心女子学院

初等科１年入試
学校説明会　6月14日(土)、 9月 6日(土)　入学試験 11月 1日(土)
授業公開　6月25日(水) 要予約

初等科５年転入・編入試
学校説明会　6月28日(土)、11月 8日(土)　入学試験　1月17日(土)
授業公開　6月25日(水) 要予約

中等科１年帰国生入試
学校説明会　6月28日(土)、11月 8日(土) 入学試験　12月20日(土)
授業公開　7月 1日(火) 要予約

その他説明会・公開行事
姉妹校中学合同説明会5月17日、初等科運動会5月24日、
みこころ祭10月12日、中等科クリスマスウィッシング12月19日

詳細は本校ホームページにてご確認ください。
URL http://www.sacred-heart.ed.jp

心を磨く 一貫教育

豊かな知性と信仰に根差した
行動力のある女性の育成につとめています。

学校法人 聖心女子学院
小林聖心女子学院
小学校・中学校・高等学校

聖心女子専門学校

人間教育を大切にしながら
社会貢献のできる人材育成を
めざしています

英語科　徹底した基礎英語教育を中心に、必修海外研修、TOEIC、TOEFL、パソコン教育、英文会計など、実社会で役に立つ力を身につけます。

保育科　二年間で幼稚園教諭二種免許、保育士資格同時取得可。
実践的講座を重視した教育課程を編成・人間性の豊かさを大切にし
こどもの心のわかる人材を育成します。

◆両科共に大学、短大の既卒者、社会人経験者多数在学中
英語科では、もう一度英語力に磨きをかけたい方のために
公開講座も開講しています。詳しくはお問い合わせください。

〒108-0072　東京都港区白金 4-11-1
TEL　03-3442-8649
URL http://www.sen-sacred-heart.ac.jp

2013年度 JASHの1年

1. 役員会　定例役員会　毎月 第2火曜日　全11回
臨時役員会　随時開催

2. 理事会　隔月 第3火曜日　全6回

3. 会長、副会長の各同窓会総会等出席（8回）

4. JASHスタディグループ
第７回 ミーティング（4月23日）
第８回 ミーティング（6月25日）
第９回 ミーティング（10月22日）
第10回 ミーティング（2014年2月25日）

理事会メンバー

5. プレゼンテーション
宮代祭（9月14日）
みこころ会新入会員歓迎会（2014年2月13日）

6. 登録ボランティアの活動
古切手処理（随時）
翻訳
＊学校法人理事長より依頼された2冊の本の翻訳完成
「JASHの日」準備・当日進行・後片付け（2014年3月17～19日）

退任役員

7. JASH主催行事
第4回JASH-AMASCを考える会（11月26日）
JASH創立50周年記念 第28回「JASHの日」（3月19日　於 聖心女子大学）

8. その他
JASHウェブサイトリニューアル
フィリピン台風被災地への義捐金取り纏め
学校法人理事長へのボランティアプロジェクト翻訳本贈呈（「JASHの日」）

■JASH役員交代

退任役員（任期満了のため）

会　長	堀田 公子(み48・宮17)
副会長	松原美智子(I'65・宮19)
書　記	岡村　香(み68)
会　計	兼元とし子(み61・三保10)
監　事	玉木 桂子(小35・宮17)

2014年からの役員

2014～2015年度役員

会　長	中山 洋子(み51)
副会長	崎川由美子(み49・三英19)
	原科 節子(み51・宮20)
書　記	唐澤 明子(み67・宮36)
	高野 美幸(茂7・三英30)
会　計	中山 宏子(小み44)
	汐見久美子(ド19)
監　事	岩田友美子(茂9・宮31)
	林　美穂子(I' 88・宮42)

次期日本聖心同窓会会長挨拶

次期日本聖心同窓会会長
中山洋子
（み51）

日本聖心同窓会（ＪＡＳＨ）は、創立への準備を始めていた世界聖心同窓会（ＡＭＡＳＣ）への窓口として、又、個々に活動していた国内聖心同窓会の結集を目的として設立されました。以後、ＪＡＳＨもＡＭＡＳＣも半世紀の歩みを続けています。

この大切な時期に私は思いがけずＪＡＳＨ会長の大役を仰せつかりました。ＡＭＡＳＣとの関わりの中で三十年近く活動してまいりましたがＪＡＳＨ役員としての経験のない私がこの大きな組織のお役に立つためには、所属同窓会も年代も異にする多くの会員の考えに触れ、ガイドラインとしなければならないと考えております。

国内八つの同窓会の統合組織としてのＪＡＳＨでは、そのありようについて各会の代表で構成される理事会に最終決断が委ねられています。一方架け橋として密接な繋がりを持つＡＭＡＳＣとの交流を通じて、今日同窓会が直面する状況の多くが世界に点在する私たち聖心ファミリー共通のものであることも実感せざるを得ません。この四年間、国内の事世界の事をあらゆる機会を捉えてお知らせし、会員の皆様と一緒に考えていきたいと思っております。何とぞよろしくお願い申し上げます。

海外における「日本聖心同窓会（JASH）会員の集い」

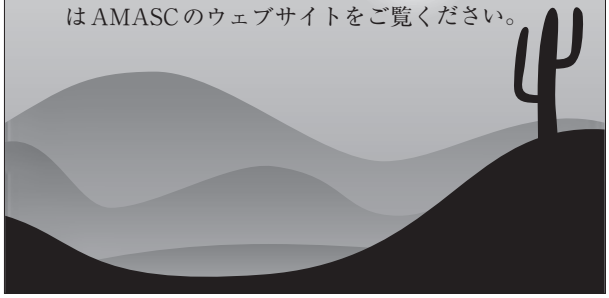
「海外JASH会員の集い」は、世界のいくつかの地域で作られた日本の聖心同窓生のグループです。同じ国や地域で暮らす聖心各校の同窓生が交流し、助け合っています。JASHは、海外に在住する方々に、この集いを役立てていただきたいと考えています。これから下記の地域で海外生活をなさる方、旅行先で現地の日本の聖心同窓生と連絡を取りたい方は、JASHまでお問い合わせください。

現在登録されている「JASH 会員の集い」の所在地	
アメリカ合衆国	ニューヨーク
	ハワイ
	サンフランシスコ／ベイエリア
英国	
フランス	パリ
中華人民共和国	香港
オーストラリア	シドニー

第15回 AMASC 世界大会開催

2014年11月6〜9日 アメリカ合衆国 アリゾナ州フェニックス

いよいよ開催が迫っています！4年に一度、世界の聖心ファミリーが一堂に会する世界規模の同窓会。現AMASC会長、パメラ・スナイダー率いるAMASC執行部とアリゾナ在住の同窓生が、アメリカンウェスタンスタイルのおもてなしで、私たちを歓迎してくださいます。なんと言っても醍醐味は、同じ価値観に基づく教育を受けた様々な国の様々な世代の聖心の卒業生との交流。普通の観光旅行では経験できない時が過ごせます。アメリカでも人気のリゾート地、アリゾナへご一緒しましょう！ 日程、申し込みなど詳細は、JASHまたはAMASCのウェブサイトをご覧ください。



JASHボランティア募集

JASHボランティア制度への登録者は、おかげさまで70名を超えました。古切手の処理を母娘で楽しんでいる方、ボランティアを通じて親しくなった方、海外から登録くださった方もいらっしゃいます。「JASHの日」も、大勢のボランティアに支えられて開催されます。JASHの活動をお手伝いくださるボランティアを、常時募集しています。申し込みは、JASHウェブサイト「お問い合わせ」より

【お手伝いいただく内容】古切手の処理、パソコン入力、簡単な事務作業、「JASHの日」などイベントの手伝い、運転、翻訳など。

資料委員会の刊行物頒布

年表「日本聖心女子学院の歩み」2008年改訂版 1冊1,500円
「語りつぐこと」第1集、第2集 1冊700円（郵送の場合は1冊1,000円）
お申込み・お問い合わせはFAX、JASHウェブサイトで
日本聖心同窓会JASH資料委員会まで
（宮代会館への電話でのお問い合わせはご遠慮ください）

古切手を集めています！

AMASCでは各国の同窓生から古切手を集め、スペインの古切手市場ボルサデサロで換金して、貴重な財源としています。国内通常切手や外国の切手の周囲を5ミリほど残して、JASH事務室までお送りください。

国内聖心各校の同窓会、日本聖心同窓会(JASH)の誕生と歩み

1908年 日本における聖心会発足
1910年 聖心女子学院外国人部第1回卒業式
のちに語学校・ISSH同窓会に発展
1917年 みこころ会(聖心女子学院)発足
1920年 ソフィア会(聖心女子学院高等専門学校)発足
1926年 住吉聖心女子学院英語専修科第1回卒業式
のちにバラ会に発展
1929年 小林みこころ会(小林聖心女子学院)発足
1952年 聖心女子大学同窓会発足(1969年宮代会と改称)
1956年 ドゥシェーン会(不二聖心女子学院) 発足
1958年 世界聖心同窓生の集い開催(於 ベルギー)
1960年 第2回世界聖心同窓生の集い開催(於 イタリア)
1964年 **日本聖心同窓会(JASH)始動**
1965年 第1回AMASC世界大会開催(於 ベルギー)
日本聖心同窓会規約作成開始
1966年 JASH初代役員就任　正式発足
JASH ホスピタリティー委員会発足
1968年 ドゥシェーンアソシエーション発足
(聖心女子専門学校　1974年三光会と改称)
1969年 茂仁香会(札幌聖心女子学院)発足
1975年 まりも会発足(札幌聖心女子学院英語専攻科1991年真理茂会と改称)
1986年 第8回AMASC世界大会 東京において開催
JASH　AMASC東京大会記念基金委員会発足
1987年 第1回「JASHの日」開催
1988年 JASH フィリピン・デュシェーン列聖記念事業委員会発足
1990年 JASH 資料委員会発足
1991年「JASHだより」創刊
1995年 ソフィア会と宮代会 合併に向けて始動
2003年 バラ会と小林みこころ会合併
2009年 JASH フィリピン・デュシェーン列聖記念事業委員会解散
「JASHウェブサイト」開設
ソフィア会と宮代会合併完了
2010年『日本聖心同窓会四十五年史 絆』発行
2013年 AMASCブローチ製作

JASH黎明期の思い出　　小堀 玲子(み39、宮8)

AMASCの正式な発足は1965年であるが、その準備は1950年代後半より進んでいた。世界中の聖心会経営の学校の卒業生と交流するための窓口となる組織の設立が各国に呼びかけられ、これを受けてJASHも誕生した。

JASH設立の立役者は、何と言っても聖心女子大学初代学長マザーブリットである。当時、新米の教員として大学内を走りまわっていた私は、専門学校同窓会ソフィア会の重鎮、門野まり子様が大学学長室に出入りされるお姿を見て、何事かと思ったものである。戦前の日本で最高の女子教育機関であった専門学校は、1920年に最初の卒業生を出して以後、ソフィア会を設立、名実ともに誇り高き人材の宝庫であった。戦後認可された新制大学に再入学された方も多かったが、オーストラリア経由の欧風高等教育と、戦後の米国式カレッジの学風の違いは歴然としていた。当然両同窓会の主義主張も相容れぬものがあった。ソフィア会と宮代会の一体化が開始されたのは1995年、最初の働きかけから実に40年後だ。こうした同窓会の差異の中で、統合同窓会の中心人材を何処に求めるか。マザーブリットの叡智は自らの大学の、ではなく、ソフィア会の人材をこれに充てたことと言えよう。専門学校最終段階の卒業生と初期の大学在学生との、時には重なる複雑さを避け、役員には全てソフィア会員を、「若造」の私1人を、連絡係として副会長に加えるという判断である。大学同窓会の合意を得てと、後に聞く。

JASH初代会長門野まり子様と語学校出身で第2代会長の麻生和子様は、私にとって畏敬する「おばさま」であられたが、良き先輩でもあった。時に厳しく又暖かいご指導は、同窓会の母校への敬愛の念の表わし方をはじめ、海外への対応、同窓生の縦横の絆のあり方等々多岐に及び、生涯の宝となった。「ひとよせ」と呼ぶご自宅での御茶の会に加えて頂いたこと、美味しいものを「勉強」に連れて行って頂いたことも、懐かしい。母校への協力は不可欠、しかし、もの申すのは同窓生としての義務であるとも教えられた。JASHが学校法人評議員3名の席を得たのも、麻生会長の功績である。

このような年月、頼りない後輩の、陰になり日向になり励まして下さったのは、宮代会から第3代会長に就任された中澤雅子様である。AMASC理事に緒方貞子様を推されたのも、1986年の世界大会を東京に招かれたのも、全て我々後輩が「雅子さん」と慕った彼女の母校愛と深謀遠慮の力と申したい。「雅子さん」を中心に、須賀敦子様、原澤よし子様などの先輩方を近くに得たことが、AMASC東京大会の成功の礎であり、この方々との日々が私の長い同窓会活動の源泉となった。想い出には敬愛するお姿が溢れている。

JASH50周年祝賀メッセージ

AMASC会長
Pamela Snyder

50 Years. What an important anniversary for JASH to celebrate. Enjoy this golden opportunity to celebrate a golden event. At anniversaries we rightly think of years gone by, of the past and how things may have changed. However, I would like to take this opportunity to focus on the very beginning of JASH.

When the Founders of JASH responded to the request of Reverend Mother Keogh and Mother Britt to establish an organization which would unify all the then existing alumnae associations that had already started their own activities, they took a large step into the unknown. Theirs was a big undertaking in something they had no past experience – they were pioneers and inventors all in one.

1929年 小林みこころ会 1回生
第1回クラス会

1933年 聖心女子学院高等専門学校
国文科第1回卒業生と在校生

1951年 聖心女子大学
第1回卒業生

1953年 聖心女子学院
高等科卒業生

1963年 不二聖心女子学院
創立10周年記念謝恩会

1971年 札幌聖心女子学院
高等学校卒業生

2014年 JASHの日 総会

2014年 JASHの日 プレゼンテーション

写真でつづる JASHの歴史

JASHだより

JASH制作物

1984年 ISSH生徒

1986年 AMASC 東京大会
歓迎レセプション

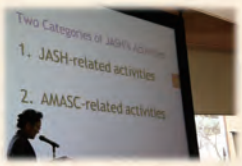
1994年
AMASC ジェノヴァ大会

2002年
AMASC シドニー大会

2008年 聖心会来日100周年
記念ミサ

2009年 ホームカミングデー
幼稚園卒業生の集まり

2011年 東日本大震災ミサ



2013年 JASHの日

発行日　2014年3月31日
発行所　日本聖心同窓会(JASH)
発行人　堀田公子

編　集　JASH役員
制　作　(株)梁プランニング

住　所　東京都渋谷区広尾4-3-1
聖心女子大学　JASH事務室
ＦＡＸ　03-3407-0671